

中古タブレット 18台を市に寄付

佐野ガス

【佐野】久保町の佐野ガス(菊池宏行社長)は17日、業務で使っていた中古のタブレット型コンピューター18台を市に寄付した。

タブレットは、同社が顧客の業務管理などに約2年間使用していた。新機種に更新することから、寄付を申し出た。

市役所を訪れた菊池社長らは「現代の子どもの教育にはコンピューターは不可欠。役立ててください」と、岡部正英市長に手渡した。写真。タブレットは、市教



育センター「アクティブ教室」でのプログラミング教育や各学校への貸し出しなどで活用される予定。

